農業科学習指導案

令和3年11月 第2学年 指導者 武藤 一真

1 単元名(題材名) 「グリーンライフ活動」(第2学年・2学期)

2 学習指導要領上の位置付け

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域資源の活用について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3)地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 目標

野菜の栽培を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 群馬県の野菜栽培における重点8品目についての知識及び栽培に関する技術を身に付ける。 (知識及び技術)
- イ 栽培方法の違いによる収量や品質の差について、グラフを適切に読み取り栽培方法を振り返ることで自己の考えを整理し、それを相手に伝えることで共有することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 野菜栽培に興味・関心を持ち、主体的・協働的に実習やグループワークに取り組む態度を身 に付ける。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開 (24/28 時間)

(1) ねらい

収量や品質の比較を通して更新剪定の効果における振り返りを行うことで、栽培に関する知識・ 技術の定着を図り、更新剪定の必要性について協働学習を通して表現力を向上させる。

(2) 展開

(2) 展開			
学習活動 ・予想される児童(生徒)の反応	時間	○指導上の留意点○研究上の手立て[記] 記録に残す評価	
 本時のねらいの提示 ①本時の取り組む内容を確認する。 ②ナスの更新剪定とは何か。方法等 栽培技術を確認する。 ・これまで行ってきた作業工程を確認し、栽培の流れを振り返れた。 【めあて】 班ごとに協力し、ナスのととめ共有してみよう。 	8分	◎今までの野菜栽培に関わる工程を確認する。○どんな工程を行ってきたかを整理させる。○各野菜を比較して、共通点と相違点を確認させる。○オンライン動画共有サイトの動画を視聴させ、作業の手順を確認させる。『する栽培方法を比較し、気付いたことや理由をま』	
 2 課題「ナスの更新剪定」のワークシートに取り組む。 【グラフから収量などを確認することで裁定に気付りので表さな違いに気付りので表になる。 ②①を持ち寄いますをできるの中でで考えをがらる。 ②②むからは表ができるが、できまりと気ができまり、からないと気ができまり、を考えなどのよりと気ができまり、というないとのが、またのが、またのできる。 【過去を基し、ののようながである。 ②①を基し、に要素をままし、ののように表を表し、にまたのできまし、にまたのできました。 ②①を発表したことができた。 ②①を発表したことができた。 	15分	 ◎ 『ナスの更新剪定に関する収量調査』のグラフ (表計算ソフト)を確認させる。 ◎ ワークシートに取り組む中で、気付いた点を読み取らせる。 ○ 気付いた点からその要因や利点を考えることを促す。 ○ 班のメンバーの意見を聞き、新たな発見ができるように、各生徒の取組や特徴的な考えに気を配る。 ナスの収量比較のまとめを適切に完成させることができる。〈ワークシート(イ)〉 	
3 まとめとして、更新剪定を行うか どうかの自身の考えを改めてまと め発表する。	7分		
4 本時の振り返り ①ICT 端末を使用し、本日の振り返りを行う。	5分	◎アンケート作成ソフトを使用し、本時の学習への取り組みに関する自己評価を行わせる。	

6 板書計画 (スライドにて表示)

















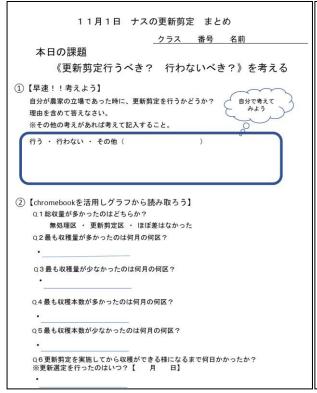
<ワークシートの取組方>

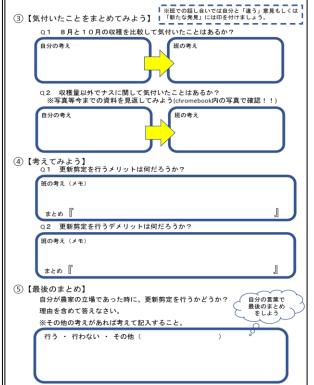
【グラフからの読み取り】と【気付いたことをまとめてみよう】

個別学習にてグラフ等から読み取り考える時間⇒協働学習での確認と意見共有

【考えてみよう】と【まとめ】

協働学習にてメリット・デメリットをまとめる⇒個別学習でメリット・デメリットをまとめる ⇒個別学習で本日の課題についての意見を再構築⇒発表





目煙

野菜の栽培を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 群馬県の野菜栽培における重点8品目についての知識及び栽培に関する技術を身に付ける。

(知識及び技術)

イ 栽培方法の違いによる収量や品質の差について、グラフを適切に読み取り、栽培方法を振り返ることで自 己の考えを整理し、それを相手に伝えることで共有することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 野菜栽培に興味・関心をもち、主体的に実習や協働学習に取り組む力を身に付ける。

(学びに向かう力、人間性等)

I 価規準 (1) 群馬県の野菜栽培における重点8品目について知識及び栽培に関する技術を身に付けている。

(知識・技術)

(2) 身に付けた栽培に関する知識と技術を生かし、栽培管理方法について、重要なポイントを整理することで、栽培方法の違いによる収量や品質の差について考え、周囲に発信することができる。

(思考・判断・表現)

(3) 野菜栽培に興味をもち、主体的に実習や協働学習に取り組む姿勢を身に付けている。

		(主体的に学習に取り組む態度)				
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り(意識)	評価項目 〈方法(観点)〉 〔記〕記録に残す評価		
つかむ	6	○様々な野菜栽培を通して、野菜栽培の共通点・相違点を確認し、栽培の基礎的な知識と技術を学ぶ。<単位時間の目標> 「野菜栽培を通して、農業の基本となる知	・野菜栽培に関する用語や基礎的な知識と技術について、様々な野菜における共通点や各野菜の特徴的な工程が分かった。	・野菜栽培に関する基礎的な 知識と技術を理解している。 〈テスト(3)〉[記] ・授業のまとめや自分自身 の取り組みに関する振り		
		識と技術を身に付け、野菜栽培への興味・関心を高める。		返りに積極的に取り組ん でいる。〈アンケート作成 ソフト・観察(1)〉		
追究する	16	○栽培の各工程を記録・整理することを通して、栽培における知識と技術の共有と振り返りを行い、知識と技術の定着を目指す。それらの知識と技術を正しく表現できる力を身に付ける。	・野菜栽培に関する用語や基 礎的な知識と技術につい て、様々な野菜における共 通点や各野菜の特徴的な工 程が分かった。	・野菜栽培に関する基礎的な 知識と技術を理解している。 〈テスト(3)〉[記]		
			・野菜栽培に関する分かったことをグループワークにより、共有することができた。	・授業を通して理解した内容を自分の言葉で表現し、班員に伝えることができる。〈スプレッドシート・発言(2)〉[記]		
		野菜栽培を通して身に付けた知識と技術 を持ち寄り、班で協力し栽培管理シート の作成を通して表現力を高める。	・栽培工程のポイントを整理 し、協働的に動画撮影を行 い自分達で振り返りのため に教材を作ることができ た。	・班員の言葉を受けいれ、 自らの表現とすり合わ せ、話合いを進めること ができる。〈スプレッドシ ート・発言(2)〉[記]		
				・協働的により質の高い動 画撮影を行うことができ る。〈発表(2)〉		
まとめ	6	○野菜栽培の各工程の流れについて、身に付けた知識や技術を活用し、どのような栽培方法が最もよいか判断し、実行できる力を身に付ける。また、その根拠も表現できる力を身に付ける。	・野菜栽培の全工程を振り返り、様々な栽培方法の違いにより収量や品質に違いがあることが分かった。	・ナスの収量比較のまとめ を適切に完成させること ができる。〈ワークシー ト・発言(2)〉〔記〕		
		野菜栽培の振り返りを通して、自分なり の最良の栽培方法や改善点等をまとめ、 今後の野菜栽培への意欲を高める。		野菜栽培に関する知識と 技術を理解している。〈テ スト(3)〉[記]		